

シンポジウム18

日時：2022年6月12日（日）8:15-9:45

【病院総合診療と家庭医療の共通基盤 —調和と融合を目指して—】

<企画責任者> 多胡 雅毅（佐賀大学医学部附属病院 総合診療部）

座 長 多胡 雅毅（佐賀大学医学部附属病院 総合診療部）

座 長 志水 太郎（獨協医科大学 総合診療医学）

演 者 中村 琢弥（医療法人社団 弓削メディカルクリニック

滋賀家庭医療学センター）

演 者 清田 実穂（医療福祉生協連家庭医療学開発センター（CFMD）・

あおさ診療所）

パネリスト 佐々木陽典（東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター）

パネリスト 鋪野 紀好（千葉大学医学部附属病院 総合診療科）

パネリスト 家 研也（聖マリアンナ医科大学・川崎市立多摩病院 総合診療内科）

パネリスト 矢吹 拓（国立病院機構栃木医療センター）

パネリスト 和足 孝之（島根大学医学部附属病院 総合診療医センター）

パネリスト 高橋 宏瑞（順天堂大学医学部 総合診療科）

<企画概要>

総合診療領域のサブスペシャリティとして、日本病院総合診療医学会では病院総合診療専門医制度が、日本プライマリ・ケア連合学会では新家庭医療専門医制度が、これまで独自に整備されてきた。病院総合診療と家庭医療は総合診療を細分化するものと誤解されがちであるが、実際に両者の総合診療医としての基礎的な部分には共通点が多く存在する。2021年には日本病院総合診療医学会と日本プライマリ・ケア連合学会の2学会による総合診療専門医取得後のキャリアに関する合同声明が公表され、この2つの領域の調和と融合を目指す動きは大きく前進している。本シンポジウムには、病院総合診療と家庭医療の双方の中堅指導医が登壇し、多様な視点を交え領域の垣根を越えて調和と融合を目指して議論を行う。セッション内では2つの専門医制度から共通基盤を見つけ議論を深め、総合診療を志す若手医師と学生に総合診療領域が目指すべき道を明示することを目的とする。



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association
2022年6月11日(土)～12日(日) | パシフィコ横浜